

呉市手をつなぐ育成会

～3月号～

2026年(令和8年)3月1日発行

呉市手をつなぐ育成会

会長 中川 潤二

〒737-0051

呉市中央5丁目12-21

呉市福祉会館3階

Tel(0823)24-2260

Fax(0823)24-2568

E-mail kure-teotunagu

@herb.ocn.ne.jp

<http://kure-teotunagu.org/>

育成会だより



障がい児者を守り、その福祉の向上を図ることを目的とします。



作品名「ひなまつり」



呉市立蒲刈中学校
虹色学級・太陽学級

もくじ

3月の予定

表紙 呉市立蒲刈中学校
P.2 「すてられないもの」 会長 中川潤二 お礼
P.3 ぼくの学級!わたしの学級!呉市立郷原小学校
P.4.5 呉本庄つくし園卒園文集より
「いちばん大切なこと」
踏切くんのママ・踏切くん
P.6.7 本人活動報告 うたう会 いくせい太鼓
「衆議院選挙投票」について
呉市立小中学校 特別支援学級合同作品展
P.8 「育成会だより発行!この1年を振り返って」
井村律子 お礼 広告 編集後記

3月15日(日)
本人部会会議 10:00～(呉つばき会館)
うたう会 13:15～(呉つばき会館)
★次回発行は4月1日です

○60周年記念式典・記念講演会
6月20日(土)13時30分～
新日本造機ホール
○令和8年度
呉市手をつなぐ育成会 総会
6月20日(土)16時30分～
呉森沢ホテル



呉市手をつなぐ育成会 60周年記念式典・記念講演会 6月20日(土)開催



「すてられないもの」

会長 中川 潤二

もうすぐ後期高齢者です。終活を始めています。コロナの時期に母と義母を亡くし、必要に迫られたこともあり、自分らしく残りの人生を送るために終活をしています。

先ず多くの書類や書籍を捨ててきました。重い百科事典や自然科学の全集、50年近く前のものですから情報は古いのです。美術全集や小説なども捨てていきました。中には、担任していた時に10年近く毎日書いていた学級通信(B4で手書きです。子供たちの日記から生活がわかるように、2000枚ちかく)や写真(大部分子供たちにあげましたが)など段ボール箱に入れて広の処理場へ運びました。

私の母は「すてられない人」でした。古いセーターなども何度も火鉢のやかんの水蒸気に当てて伸ばして編みなおしてくれました。中学生の頃、ストーブのない古い木枠の教室は寒いのです。椅子にくくりつける座布団を作ってくれました。これは、私もすてられなくて退職するころまで、尻の下で私を支えてくれました。また、ずっと家計簿をつけていま



毎日、その日のできごとなど数行日記も書いていました。子供のころからそれをよく目にしていたので、納戸の奥に置いてあるそれを私が欲しいと伝えて、もらう約束を母としていました。

母の生き方を何らかの形でまとめるつもりでした。しかし、今手元にあるのは、父の亡くなった日からの10数年分です。下の妹が持っていてくれて去年私がもらいました。その最後の日に「...〇〇さん(上の妹)に話したいこともあったのに、潤二さんには手渡すものがなかったのに...どうなるかとてもなさげなく涙がでます。お父さん待ってネ...御免なさい...」と書いて終わります。85歳です。この後、100歳まで生きました。このころ本当にしんどかったのだと思います。こんな母の思いを受け止められていなかった自分を今せめています。10数年分だけでもあって良かったです。でも、やはり父の亡くなる前の数10年分の家計簿が見たかったです。母も認知症がすすんでいましたし、それは見つかりません。私にとってすてられない大事なものでした。

終活にあたり自分らしく生きるために、すてられないものをちゃんと見極めていこうと思います。

令和7年度 広告掲載いただいた皆様

ありがとうございました【順不同】

正和実業株式会社・正和液化株式会社 井本建設株式会社 株式会社アイリフォーム
イロハ自動車株式会社 株式会社ユニックス 根石電機工業株式会社
社会福祉法人かしの木 社会福祉法人広島岳心会 社会福祉法人ふれんず
特定非営利活動法人ぽでーる 特定非営利活動法人青虫の会

ぼくの学級！
わたしの学級！

呉市立郷原小学校 たんぽぽ学級



5月 「こいのぼり」



6月 「梅雨」



7月 「夏祭り」



9月 「お月見」

呉市立郷原小学校には、特別支援学級が2学級あります。たんぽぽ1組は自閉症・情緒障害特別支援学級、たんぽぽ2組は知的障害特別支援学級として学習しています。合計5名の児童で毎日元気に頑張っています。

毎月、たんぽぽ1・2組合同で中央階段の掲示板の作品づくりを行っています。みんなで協力して楽しみながら、四季折々の作品を作って飾っています。



10月 「ハロウィン」



11月 「紅葉の秋」



12月 「クリスマス」



1月 「お正月」



「いちばん大切なこと」

踏切くんのママ・踏切くん（6歳）

踏切くんは、帝王切開で生まれて、成長と共にニコニコ良く笑う子でした。

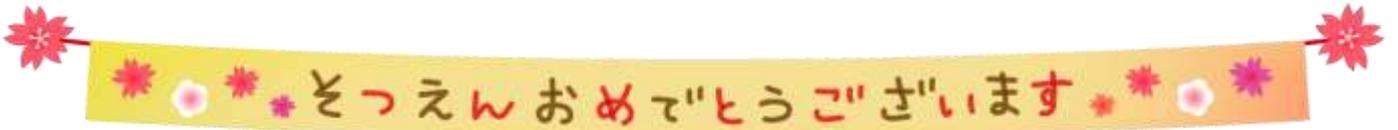
私の仕事復帰と同時に1歳半から保育園に入り、その頃は5単語程話せていました。バイバイと手を振ったり、靴を自分で脱いで靴箱に入れたりできることもありましたが、視線が合いにくいのが心配、1歳半検診（コロナ禍のため2歳に近かった）の時に相談しましたが、様子を見ましようと言われました。

それから、心配はしていたつもりでしたが、私も看護師の仕事に復帰したばかりで、さらにコロナ禍だったため必死に働いてしまいました。しかし、気が付くと、踏切くんの視線はますます合わなくなり、笑顔も発語も少なくなっていました。やってしまったと、思いました。自分への失望と、子供達への申し訳なさで、それから必死に保健所に相談したり、発達支援センターや通える幼稚園を探しました。その時の私は落ち込んだり、怒ったり、忙しく動いており、子供たちに不安を与えていたと思います。そのせいで、ますます笑顔を失っていたことに気が付きませんでした。

踏切くんが幼稚園に入り、週1回、1時間の発達支援センターに通い始めて、初めて療育というものに触れました。一緒に活動することで、少しずつ視線が合うようになり、踏切の遮断機の動きを手でマネしながら「カンカン」と言えるようになりました。成長がすごくうれしい反面、今後への不安と焦りで、療育をしているときは、踏切くんも私も少しニコニコできましたが、日常に戻ると暗い表情になりました。

そうやって、バタバタ過ごしていたある日、仕事中にせん妄の患者さんに「あんたなんか、ここにおってもしょうがない」と言われてしまい、今まではそんなことを言われても、（せん妄だからしょうがないね）と許せていましたが、その時から、何もしていない時にも勝手に涙が出るようになってしまいました。今思うと、もう心が疲弊していたのだと思います。それから、子供のことだけに集中したいと思い、できるだけ早く仕事を辞めました。たくさん迷惑もかけましたが、そんなのどうでもいいくらい、何も考えられませんでした。正直、踏切くんと一緒に死のうかと思いました。どうしようもなくなって、保健師さんに連絡すると、つくし外来に相談に行くように勧められました。藁をもつかむ思いで、相談に行くと、話を聴いてくれて、踏切くんもすごく楽しそうに過ごしているのが分かりました。来年からの入園予約をさせてもらい、療育の時間が増えることに少し気持ちが軽くなりました。また、いつでも相談にのっ





てくれるところがあるという安心感で心が救われました。

踏切くんが年中になる年につくし園に入園でき、私も仕事を辞めた事で、少し心に余裕ができてきました。

つくし園に入ってから、視線も合うようになり、トランポリンのおかげで体幹がしっかりしたことで、ジャンプもできるようになりました。今ではトランポリンの上をすごい勢いでビョンビョン飛べるようになりました。外で過ごすときは、一目散に走って行って、追いかけるのが大変ですが、最近は戻って来てくれることも増えて成長を感じます。一緒に走れるようになってできるだけ元気でいようと思います。

コミュニケーションも、なかなか踏切くんの言いたいことが分かってあげられず、困っていました。具体物を使って伝える事を教わり、家でも言葉と物を一緒に持って伝えると、わかってくれることが増えました。また踏切くんも欲しい物を持ってきたり、連れて行ってくれたり、伝えるということができるようになってきました。(伝わるってこんなにうれしいんだ)と感じました。最近では、写真や本の中のものを注視できるようになり、具体物の写真でも伝わるようになってきました。ジェスチャーや表情もすぐ見てくれるようになって、表情がすごく

豊かになりました。踏切くんと過ごすのが楽しくなりました。

つくし園の先生方はいつも笑顔で踏切くんに話しかけ、踏切くんのペースに合わせてくれました。踏切くんにたくさん笑いかけてくれたことで、踏切くんの笑顔を取り戻すことができました。心から感謝申し上げます。踏切くんの笑顔が私達を笑顔にして家庭の中が明るくなりました。先生方のおかげで、ひどいと感じた患者さんの言葉も、あの言葉があったから、仕事を辞める決意ができ、つくし園にたどりつくことができた救いの言葉だったのだと思えるようになりました。

過去のことを思い出すと、どうしても涙が出てしまうことがあります。未来のことを考えすぎると、不安がつのって眠れなくなることもあります。しかし、一番大切なのは、今ある笑顔がなくならないように、穏やかな気持ちで見守ることだと学びました。自分が泣いたり、苦しんでいると子供の表情も曇ってしまうので、これからも、踏切くんの成長に合わせて見守り、楽しみながら一生懸命生きていこうと思います。本当にありがとうございました。





ほんにんかつどうほうこく 本人活動報告



がつ にち にち ひろしまけんて
2月1日(日)、広島県手をつなぐ育成会はつら
とも かいしゆざい ほんにん ほんにん そう
つ友の会主催の『本人による本人のための相
だんかい こうりゆうかい ひろしまし おこな
談会&交流会』が広島市にて行われました。
ひろしまけんない さまざま ところ なかま めいあつ
広島県内の様々な所から仲間たちが63名集
まりました。



ごぜん じぶん なん べんきょうかい
午前は、「自分がされたらイヤなことって何だろう？」をテーマに勉強会がありました。
ちゅうしょくご たいかい こうりゆう たの ご ご そうだんかい せいかつ
昼食後は「クイズ大会」で交流を楽しみました。午後は、「なんでも相談会」で、生活・
しごと ともだち かぞく そうだん
仕事・友達・家族のことなど相談しました。

くれ さんか みな だいひょう じ こしょうかい きんちよう
呉から参加された皆さんからは、「グループ代表の自己紹介が緊張した。クイズが
むずか さんか よ たの べんどう
難しかった。」「参加して良かった。楽しかった。」「弁当がおいしかった。」「クイズのひ
つかけ問題にひっかかった。」などの感想がでました。
もんだい かんそう じむきょく
【事務局】



がつ にち にち ほんにんぶ かい かい ほんにん ほんにん そうだんかい
2月15日(日)、本人部会うたう会がありました。「本人による本人のための相談会
こうりゆうかい ほうこく
&交流会」の報告をしました。テーマは「いじめ、差別、ハラスメントについて」でした。
あいて きもち がするか、言っいいこと、わるいこと、その人の立場やまわりの
ふんいき はな おも
雰囲気をみて話していただけたらいいと思います。

せんきよ はなし どうひょうようし しゅるい おお わたし かみ なに か ふあん
選挙の話もしました。投票用紙の種類が多く、私はどの紙に何を書くか不安だった
しえん ねが
ので支援をお願いしました。

こんねん ど べんきょうかい ていねい ぎょうせい
今年度もたくさんの勉強会ができました。みやすく、丁寧におしえてくださった行政の
かたがた かんしゃ しろもとふさえ
方々にも感謝いたします。ありがとうございました。
【城本房江】



「衆議院選挙投票」について

2月の投票日に「行った」「行かなかった」「困った」など意見を頂きました。お聞きした2/3ほどの方が投票に行かれていました。

○『選挙に行かなかった』

- ・今まで行ったことがない
- ・本人の理解と判断が難しい

- ・字を書くのが難しい
- ・本人に説明するのが難しい
- ・天気が悪かった



○『選挙に行ったよ』

- ・困ったことがおきないように、投票する前に下準備をしっかりとっていった。
- ・保護者と行き、記入時の支援を許可してもらった。
- ・今まではお父さんで行っていたけど、今回はひとりでいった。

- ・投票する人を事前に決めていった。
- ・選挙広報をみて選び切り抜きと、手帳をもつていった。
- ・支援を頼んだ(記入見守り)
- ・投票用紙を渡された時に、「これは、小選挙区です。名前を記入して下さい」と説明してくれたので助かりました。

『いくせい太鼓ステージ発表』

令和8年2月1日(日)第33回人権を考える仁方町民の集い「人権フェスタ in Nigata 2026」が開催されました。いくせい太鼓も昨年に引き続き3回目の参加になりました。仁方まちづくりセンターホールにて、第1部「音楽を通して人権についてかんがえよう」のステージでは、頼常先生と一緒に10名のメンバーがいくせい太鼓の演奏を発表することができました。皆、生き生きとした笑顔で堂々とたたいており、踊る曲の時には会場の皆さんの手拍子にのって、からだ全体で楽しそうに踊っていました。今年もこのような発表の場をいただきありがとうございました。



第49回 呉市立小中学校 特別支援学級合同作品展

2月18日(水)~2月20日(金)まで広まちづくりセンター3階で合同作品展が開催されました。毎年沢山の作品が展示されています。力強い作品やアイデアのつまった作品でいっぱいでした。その中から一部ご紹介させていただきます。





卒業・卒園おめでとうございます



呉市立小中学校特別支援学級及び天応学園の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

2月12日、呉市立小中学校特別支援学級設置校校長会会長・豊浜中学校、小山校長先生をお迎えし、記念品贈呈式を行いました。



中川会長より、卒業生の皆さんへ記念品とメッセージカードを贈呈させていただきました。また、呉本庄つくし園の加島園長先生に卒園児の皆さんのお祝いを、贈呈させていただきました。

『育成会だより発行!この1年を振り返って!!』

今年度も育成会だよりを、毎月3,000部あまり配布させて頂きました。

7月、啓発活動として育成会だより臨時号の市内全戸回覧を行いました。障害のある皆さんとモビリーデイズの使い方・防災・選挙について勉強会を実施。11月、広島県障害者福祉大会・はつらつ大会 三原竹原大会に参加し、県内の仲間と交流した様子も紙面で紹介しました。「表紙絵」「ぼくの学級わたしの学級」は、呉市立小中学校・天応学園の特別支援学級や呉本庄つくし園の作品や学級の様子を紹介させて頂きました。お母さんの子育て日誌「手をつなぎ生きる」は日々大変な子育ての中で、子どものかわいいところをたくさん綴っていただきました。投稿していただいた皆さま、ありがとうございました。また校正・印刷・封入に毎月ご協力いただいております皆さまにも感謝申し上げます。来年度もいろいろな活動や情報などお伝えしてまいります。ご感想等があればお聞かせください。引き続きご支援ご協力をよろしくお願いいたします。【広報部長 井村律子】



☆令和7年度☆ ご寄付いただいた皆さま
ありがとうございました。 今後ともよろしくお願いいたします。



社会福祉法人 ふれんず

特定相談支援事業所 / 障害児相談支援事業所

ふれんずサポートセンター
呉市中通1丁目2-38
TEL (0823) 23-8679 / FAX (0823) 36-6510
E-mail:sentar@furenz.or.jp

就労継続支援B型事業所

ひかり作業所 若椿作業所
呉市中通1丁目2-38 呉市広古新開2丁目1-5 JR新広駅2F
TEL (0823) 23-8676 TEL / FAX (0823) 74-8185
FAX (0823) 36-3101

共同生活援助事業所

クローバーフォー・クローバーズ
呉市坪ノ内町10-2-203・204
【事務所TEL】(0823) 23-8676



編集後記

弥生3月。この冬はとびきり寒い日が続きました。春が待ち遠しいです。

イタリアで開催された冬期オリンピックの競技に一喜一憂しながら、世代交代という現実も垣間見たようです。これから始まるパラリンピック。日本選手の活躍を楽しみに、また応援したいです。

60年を迎えた育成会。支えてくださる皆さんに感謝し、バトンを次世代に渡せるよう、事務局も日々精進してまいります。

節目の3月。サポートファイルの書き替えをして子どもの成長を確認しませんか。